

大学番号：国066

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

共同設置

山口大学 共同獣医学部

鹿児島大学 共同獣医学部

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

山口大学：国立大学法人 山口大学

鹿児島大学：国立大学法人 鹿児島大学

平成29年5月1日現在

山口大学：作成担当者

担当部局（課）名 企画戦略部企画・評価課企画係

職名・氏名 副課長（併：企画係長） ツチダ マコト
土田 誠

電話番号 083-933-5956

（夜間） 083-933-5956

F A X 083-933-5959

e-mail sh041@yamaguchi-u.ac.jp

鹿児島大学：作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課法務・コンプライアンス係

職名・氏名 係長 松本 智子
マツキ トモコ

電話番号 099-285-7066

（夜間） 099-285-7066

F A X 099-285-7034

e-mail sshouki@kuas.kagoshima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	25
6. 留意事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者, 大学名

国立大学法人 山口大学：山口大学共同獣医学部

国立大学法人 鹿児島大学：鹿児島大学共同獣医学部

(2) 大学の位置

(山口大学)

〒753-8511：山口県山口市吉田1677-1

(鹿児島大学)

〒890-8580：鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
山口大学	理事長 (該当しない場合は不要)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
	学長	(マルモト タクヤ) 丸本 卓哉 (平成18年5月12日)	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)	任期満了
	学部長	(イワタ ヒロユキ) 岩田 祐之 (平成24年4月1日)	(キノ ヤスオ) 木曾 康郎 (平成26年4月1日)	任期満了
	学科長等	(モリモト マサヒロ) 森本 将弘 (平成24年4月1日)	(ワタライ マサヒサ) 度会 雅久 (平成28年4月1日)	任期満了
鹿児島大学	理事長 (該当しない場合は不要)			
	学長	(ヨシダ ヒロキ) 吉田 浩己 (平成19年1月12日)	(マエダ ヨシザネ) 前田 芳春 (平成25年4月1日)	任期満了
	学部長	(タカセ コウゾウ) 高瀬 公三 (平成24年4月1日)	(ミヤモト アツシ) 宮本 篤 (平成28年4月1日)	任期満了
	学科長等			学科長は置いていない

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
山口大学共同獣医学部 獣医学科 学士(獣医学)	6年	30人	0人	180人	
鹿児島大学共同獣医学部 獣医学科 学士(獣医学)	6年	30人	0人	180人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
山口大学	A入学定員	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	1.03倍	
	志願者数	() [2] 238	() [-]	(25) [1] 139	() [-]	(27) [1] 134	() [-]	(26) [1] 180	() [-]	(34) [4] 155	() [-]	() [3] 181	() [-]		
	受験者数	() [1] 176	() [-]	(12) [1] 122	() [-]	(15) [1] 100	() [-]	(11) [0] 137	() [-]	(12) [4] 117	() [-]	() [3] 137	() [-]		
	合格者数	() [0] 30	() [-]	(2) [0] 31	() [-]	(2) [0] 30	() [-]	(2) [0] 31	() [-]	(2) [1] 33	() [-]	() [0] 34	() [-]		
	B入学者数	() [0] 30	() [-]	(2) [0] 31	() [-]	(2) [0] 30	() [-]	(2) [0] 30	() [-]	(1) [1] 32	() [-]	() [0] 33	() [-]		
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.03		1.00		1.00		1.06		1.1			
鹿児島大学	A入学定員	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	30 () [若干名]	人	1.05倍	
	志願者数	() [-] 184	() [-]	() [1] 164	() [-]	() [3] 285	() [-]	() [6] 128	() [-]	() [6] 252	() [-]	() [10] 191	() [-]		
	受験者数	() [-] 154	() [-]	() [1] 133	() [-]	() [3] 221	() [-]	() [6] 104	() [-]	() [6] 190	() [-]	() [10] 154	() [-]		
	合格者数	() [-] 32	() [-]	() [0] 32	() [-]	() [1] 34	() [-]	() [1] 32	() [-]	() [0] 32	() [-]	() [0] 32	() [-]		
	B入学者数	() [-] 31	() [-]	() [0] 32	() [-]	() [0] 32	() [-]	() [1] 32	() [-]	() [0] 32	() [-]	() [0] 31	() [-]		
	入学定員超過率 B/A	1.03		1.06		1.06		1.06		1.06		1.03			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生』を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考	
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
山口大学	1年次	[-] (-) 30	[-] (-) -	[-] (-) 31	[-] (-) -	[-] (-) 30	[-] (-) -	[-] (-) 30	[-] (-) -	[1] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 33	[-] (-) -		
	2年次			[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (4) 37	[-] (-) -	[-] (3) 35	[-] (-) -	[-] (2) 32	[-] (-) -	[1] (1) 33	[-] (-) -		
	3年次					[-] (-) 28	[-] (-) -	[-] (-) 33	[-] (-) -	[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 30	[-] (-) -		
	4年次							[-] (-) 28	[-] (-) -	[-] (1) 34	[-] (-) -	[-] (5) 37	[-] (-) -		
	5年次									[-] (-) 27	[-] (-) -	[-] (-) 29	[-] (-) -		
	6年次												[-] (-) 27	[-] (-) -	
	計	[-] (-) 30	[-] (-) -	[-] (-) 63	[-] (-) -	[-] (4) 95	[-] (-) -	[-] (3) 126	[-] (-) -	[1] (3) 157	[-] (-) -	[1] (6) 189	[-] (-) -		
鹿児島大学	1年次	[-] (-) 31	[-] (-) -	[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 32	[-] (-) -	[1] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 32	[-] (-) -	[-] (-) 31	[-] (-) -		
	2年次			[-] (-) 31	[-] (-) -	[-] (2) 34	[-] (-) -	[-] (4) 36	[-] (-) -	[1] (3) 35	[-] (-) -	[-] (2) 32	[-] (-) -		
	3年次					[-] (-) 29	[-] (-) -	[-] (-) 30	[-] (-) -	[-] (1) 33	[-] (-) -	[1] (1) 33	[-] (-) -		
	4年次							[-] (-) 29	[-] (-) -	[-] (2) 32	[-] (-) -	[-] (2) 34	[-] (-) -		
	5年次									[-] (-) 27	[-] (-) -	[-] (1) 31	[-] (-) -		
	6年次												[-] (-) 27	[-] (-) -	
	計	[-] (-) 31	[-] (-) -	[-] (-) 63	[-] (-) -	[-] (2) 95	[-] (-) -	[1] (4) 127	[-] (-) -	[1] (6) 159	[-] (-) -	[1] (6) 188	[-] (-) -		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数を記入してください。
 ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
山口 大学	平成24年度 入学者	30 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
				平成25年度	0 人	0 人		
				平成26年度	0 人	0 人		
				平成27年度	0 人	0 人		
				平成28年度	0 人	0 人		
				平成29年度	0 人	0 人		
	平成25年度 入学者	33 人	1 人	平成25年度	0 人	0 人		3.0 %
				平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	
				平成27年度	0 人	0 人		
				平成28年度	0 人	0 人		
				平成29年度	0 人	0 人		
	平成26年度 入学者	32 人	2 人	平成26年度	0 人	0 人		6.3 %
				平成27年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	
				平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	
				平成29年度	0 人	0 人		
	平成27年度 入学者	32 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	3.1 %
				平成28年度	0 人	0 人		
				平成29年度	0 人	0 人		
	平成28年度 入学者	33 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
				平成29年度	0 人	0 人		
	平成29年度 入学者	33 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計		193 人	4 人				2.1 %	

鹿児島 大学	平成24年度 入学者	31 人	1 人	平成24年度	0 人	0 人	3.2 %	
				平成25年度	0 人	0 人		
				平成26年度	0 人	0 人		
				平成27年度	0 人	0 人		
				平成28年度	1 人	0 人		他の教育機関への入学・転学
				平成29年度	0 人	0 人		
	平成25年度 入学者	32 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人	0.0 %	
平成26年度				0 人	0 人			
平成27年度				0 人	0 人			
平成28年度				0 人	0 人			
平成29年度				0 人	0 人			
平成26年度 入学者	32 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人	0.0 %		
			平成27年度	0 人	0 人			
			平成28年度	0 人	0 人			
			平成29年度	0 人	0 人			
平成27年度 入学者	32 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	0.0 %		
			平成28年度	0 人	0 人			
			平成29年度	0 人	0 人			
平成28年度 入学者	32 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	3.1 %		
			平成29年度	0 人	0 人			
平成29年度 入学者	31 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	0.0 %		
合 計	190 人	2 人					1.1 %	

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<共同獣医学部 獣医学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目 (人文・社会科学系)	漢文	4後	山口大学		2							山口大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (24)
	文化人類学	1前・後	山口大学		2							
		4後										
	日本文学	1前・後	山口大学		2							
	哲学	1前・後	山口大学		2							
	日本史	1前・後	山口大学		2							
	西洋史	1前・後	山口大学		2							
	宗教学	1前・後	山口大学		2							
	東洋史	1前・後	山口大学		2							
	政治学	1前・後	山口大学		2							
	発達心理学	4後	山口大学		2							
	心理学	1前・後	山口大学		2							
	社会学	1前・後	山口大学		2							
	経済学	1前・後	山口大学		2							
	意思決定と業績評価	4後	山口大学		2							
	文化の継承と創造1	1前	山口大学		1							
	文化の継承と創造2	1前	山口大学		1							
	哲学	1後	山口大学		1							
	歴史学	1後	山口大学		1							
	社会学	1前	山口大学		1							
	経済と法1	1前	山口大学		1							
	経済と法2	1前	山口大学		1							
	経済と法3	1前	山口大学		1							
	人間の発達と育成1	1後	山口大学		1							
	人間の発達と育成2	1後	山口大学		1							
	唐代の文学	1前	鹿児島大学		2							
	文化人類学の世界	4前	鹿児島大学		2							
	狂言の世界	1前										
	『源氏物語』を読む	4後	鹿児島大学		2							
	奄美の民俗文化	1前・後										
	教育哲学特講	2前										
		4後										
	読み書き能力の教育哲学	4前	鹿児島大学		2							
	博物館へのいざない	1前	鹿児島大学		2							
	鹿児島探訪-文化-	1前	鹿児島大学		2							
	鹿児島の四季 キャンパス俳句会	1後	鹿児島大学		2							
	大学の日本史	1前	鹿児島大学		2							
	西洋史入門	1前	鹿児島大学		2							
		1前										
	「生き方」としての宗教論	4後	鹿児島大学		2							
九州の古墳文化	1後	鹿児島大学		2								
鹿児島の歴史地理												
東アジア社会史	1前	鹿児島大学		2								
ウォッチング現代政治	1後	鹿児島大学		2								
発達臨床心理学	1前	鹿児島大学		2								
心理学	4後	鹿児島大学		2								
社会学の世界	1後	鹿児島大学		2								
国際経済学入門	1前	鹿児島大学		2								
現代企業経営論	1前	鹿児島大学		2								
大学で学ぶ	1前	鹿児島大学		2								
現代社会と大学	1後	鹿児島大学		2								
消費者教育	1後	鹿児島大学		2								
鹿児島探訪-地域産業-	1後	鹿児島大学		2								
自己理解・他者理解と障害理解	1後	鹿児島大学		2								
ピアカウンセリング入門	1前・後	鹿児島大学		2								
初年次セミナー I	1前	鹿児島大学		2								
初年次セミナー II	1後	鹿児島大学		2								
34 -24 小計 (28科目)				4 4	54 28 26	0	0	0	0	0	0	56 25 31

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目 一般教養教育科目（自然科学系）	火山と地震	1前	山口大学		2			1				兼1	山口大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (25)		
	科学の中の動物	1前 1後	山口大学		2		2			2		兼1		オムニバス	
	数学Ⅰ	1後	山口大学		2							兼1		兼1	教育効果の充実のため、配当年次を変更 (24)
	現代化学総論	1前-後	山口大学		2							兼1		兼1	教育効果の充実のため、配当年次を変更 (24)
	生命を科学する	1後 1後	山口大学		2							兼1		兼1	
	現代物理学総論	1前	山口大学		2							兼1		兼1	教育効果の充実のため、配当年次を変更 (24)
	暮らしの中の動物	1後	山口大学		2		4					兼1		オムニバス	
	環境学	1後 1後	山口大学		2							兼1		兼1	教育効果の充実のため、配当年次を変更 (27)
	生命科学概論	1前-後	山口大学		2		2					兼1		オムニバス	
	環境と植物	1前	山口大学		2							兼1		兼1	山口大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (25)
	宇宙と人間	1後	山口大学		2							兼1		兼1	
	環境とバイオテクノロジー	1前	山口大学		2							兼1		兼1	教育効果の充実のため、配当年次を変更 (27)
	人間とバイオテクノロジー	1後	山口大学		2							兼1		兼1	
	自然科学1	1後	山口大学		1		4	3						兼1	オムニバス
	自然科学2	1後	山口大学		1		4	3						兼1	オムニバス
	科学技術と社会	1前	山口大学		1									兼1	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)
	環境と人間	1前	山口大学		1			1						兼1	
	食と生命	1前	山口大学		1		2	1			1			兼1	オムニバス
	自然学校へ行こう！														教育効果の充実のため、授業科目を変更 (27)
	地震と火山	1前	鹿児島大学		2							兼1		兼1	
	口と顔の科学	1後	鹿児島大学		2									兼1	オムニバス
	教養微積分学	1前	鹿児島大学		2									兼1	鹿児島大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (28)
	放射線の世界	1後	鹿児島大学		2							兼1		兼1	
	化学	1前	鹿児島大学		2									兼1	教育効果の充実のため、授業科目及び配当年次を変更 (27)
	生物とリズム	1前	鹿児島大学		2							兼1		兼1	
	遺伝のしくみ	1前												担当教員が退職したため、授業科目及び配当年次を変更 (26)	
	共教行動学	1後													
	生活の中の物理	1前	鹿児島大学		2				2	9			兼1	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (28)	
									4	10			兼1		
									2	12			兼1	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)	
									3	11			兼1		
									4	10		4	兼1	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (25)	
動物の病気	1前	鹿児島大学		2		2	11			4		兼1	オムニバス		
生命科学	1後	鹿児島大学		2								兼1	オムニバス		
植物学入門	1後	鹿児島大学		2								兼1	担当の准教授が教授へ昇任したため (24)		
地域環境論															
地域環境エネルギー論	1前	鹿児島大学		2								兼1	オムニバス		
森林科学	1後	鹿児島大学		2								兼1	教育効果の充実のため、授業科目の名称を変更 (26)		
宇宙科学	1前	鹿児島大学		2								兼1			
鹿児島探訪-循環型社会と世界遺産-	1後											兼1	教育効果の充実のため、授業科目及び配当年次を変更 (27)		
暮らしの中のバイオ	1前	鹿児島大学		2								兼1			
大学と地域	1後	鹿児島大学		2								兼1	鹿児島大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (28)		
20 14 小計 (26科目)				2 4	33 52	0	13 16 14 15 12 11	16 17 10 18 12 11	0	5 2 2	0	42 44 60 57			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数		専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	知の広場—人と学問—	1前-後	山口大学	2								山口大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (25)	
	キャリアデザイン	1後	山口大学	2									
	国際交流論	1前	山口大学	2									
	ベンチャービジネス論	1前	山口大学	2									
	ボランティアと自主活動	1後	山口大学	2									
	山口と世界	1後	山口大学	1									
	知の広場	1後	山口大学	1									
	倫理学入門												オムニバス 担当教員が退職したため、授業科目及び担当教員を変更 (26)
	職業人と実践倫理	1前	鹿児島大学	2									
	キャリアデザイン	1後	鹿児島大学	2									
	手話入門												
	ボランティア論	1前-後	鹿児島大学	2									教育効果の充実のため、授業科目を変更 (27)
		1前											担当教員の変更のため、配当年次を変更 (26)
	グローバル社会を生きる	1後	鹿児島大学	2									教育効果の充実のため、配当年次を変更 (24)
国際異文化交流 I	1前	鹿児島大学	2										
異文化理解入門	1前	鹿児島大学	2								鹿児島大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (28)		
8 7 小計 (40科目)	—		4 2 0	10 20	0	0	0	0	0	0	18 6 — 15 兼 18		
体育・健康科目	運動健康科学	1後	山口大学	1								山口大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の変更 (25)	
	社会と医療	1後	山口大学	1									
		2前											教育効果の充実のため、配当年次を変更 (27)
	スポーツ運動実習	1前-後	山口大学	1	*								*各大学で開講される2科目を履修
	体育・健康科学理論B	1前	鹿児島大学	1									鹿児島大学における全学共通教育改革に伴う、授業科目の名称変更 (28)
	体育・健康科学実習+	1前	鹿児島大学	1									
小計 (4科目)	—		4	0	0	0	0	0	0	0			
初期教育科目	生命倫理学	1前	山口大学/ 鹿児島大学	1								集中	
	コミュニケーション論	1前	山口大学/ 鹿児島大学	1								集中	
	情報セキュリティ・モラル	1前	山口大学	1								鹿大メディア	
	情報リテラシー演習	1前	山口大学/ 鹿児島大学	1			1	0	0	0	0	※演習	
	小計 (4科目)	—		4	0	0	1	0	0	0	0		
外国語科目	英語 I	1通	山口大学/ 鹿児島大学	4									
	英語 II	2通	山口大学/ 鹿児島大学	4									
	小計 (2科目)	—		8	0	0	0	0	0	0	0		
基礎教育科目	基礎生物学	1前	山口大学	2			4					鹿大メディア	
				1								鹿大メディア	
	基礎化学	1前	山口大学	2								鹿大メディア	
	基礎物理学	1前	山口大学	1								鹿大メディア	
				1									
	分子生物学	1後	鹿児島大学	2			2	1				山大メディア オムニバス	
	畜産科学	2前	山口大学	1				1	3			鹿大メディア	
				1									
	生物統計学	1後	鹿児島大学	2					4			山大メディア	
		2後	鹿児島大学									集中 山大メディア オムニバス	
作物・草地学	2前	山口大学	1				1				鹿大メディア		
生物学実験	1後	山口大学/ 鹿児島大学	2			4	6	7		5			
8 2 小計 (6科目)	—		10	0	0	10 14 9 10	11 14 10 11	0	5 1	0	兼 3 兼 2 兼 1	鹿児島大学では共通教育改革に伴い、「基礎教育科目」は専門教育科目の一分類の位置づけとなる。(28)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
齊一教育科目 (導入科目)	獣医学概論A	1前	山口大学	1			1	4	2				兼1 兼4	集中 オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)
							6	1							教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
							4	4					兼1	集中	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (26)
	獣医学概論B	1前	鹿児島大学	1			3	2					兼1 兼2	集中 オムニバス	担当の准教授が教授へ昇任したため (24)
								2	4						教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
	獣医キャリア形成論	3後	山口大学/ 鹿児島大学	2			2	4					兼2	オムニバス	担当教員が退職したため、担当教員を変更 (26)
	獣医倫理学	5前	山口大学/ 鹿児島大学	1			1						兼1	集中	担当教員の変更 (29)
獣医法規	5後	鹿児島大学	2									兼2	集中 山大メディア オムニバス	開講科目を変更するため、単位数を変更 (28)	
動物福祉学	5後	鹿児島大学	1			2	1					兼1	集中 山大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため、授業科目を新設 (28)	
6 小計 (5科目)	—	—	—	7	0	0	11 9 8 7	4 3 4	0	0	0	35 26 25 兼 24			
専門教育科目	獣医解剖学A	2前	鹿児島大学	1			1							山大メディア	
	獣医解剖学B	2前	山口大学	1			1							鹿大メディア	
	獣医解剖学C	2後	鹿児島大学	1			1							山大メディア	
	獣医解剖学D	2後	山口大学	1			1							鹿大メディア	
	獣医組織学A	2前	山口大学	1				1						鹿大メディア	
	獣医組織学B	2前	鹿児島大学	1			1							山大メディア	
				山口大学/ 鹿児島大学			1							鹿大メディア/山大メディア	
	獣医組織学C	2後	山口大学	1				1						鹿大メディア	教育効果の充実のため、開設大学、授業実施方法及び担当教員を変更 (28)
	獣医組織学D	2後	鹿児島大学	4			4							山大メディア	教育効果の充実のため、授業科目を変更 (28) 担当准教授の学内配置換 (29)
	獣医生理学A	2前	山口大学/ 鹿児島大学	2			2	4	4				兼1	鹿大メディア オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため、開設大学及び授業実施方法を変更 (26)
															担当の准教授が辞任したため後任を公募中 (26)
	獣医生理学B	2後	鹿児島大学	2			2	1	2				兼1	山大メディア オムニバス	開設大学の変更により、担当教員が教授1名、准教授1名増 (26) 担当准教授の学内配置換 (29)
	生化学 I	2前	山口大学	2			2	1						鹿大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)
	生化学 II	2後	鹿児島大学	2			2	1	1					山大メディア オムニバス	教育効果の充実のため、開設大学及び授業実施方法を変更 (26)
	動物遺伝学	2前													
動物行動学	2後	山口大学	2			2						兼1	鹿大メディア	開講科目の変更による配当年次の変更 (27)	
獣医発生学	2後	鹿児島大学	2			2	1	4				兼1	山大メディア オムニバス	担当准教授の学内配置換 (29)	
獣医発生学	3前	山口大学	2			2		1					鹿大メディア		
獣医薬理学A	3前	山口大学	1			1	1	1					鹿大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更し、オムニバスに変更 (26)	
													オムニバス 山大メディア		
獣医薬理学B	3前	鹿児島大学	1			1	1	1					鹿大メディア	教育効果の充実のため、開設大学及び担当教員を変更 (26)	
													オムニバス		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	畜一教育科目(基礎獣医系科目)	獣医薬理学C	3後	山口大学 鹿児島大学	1			1	1					鹿大メディア 山夫メディア オムニバス	教育効果の充実のため、開設大学を変更(26)	
		獣医薬理学D	3後	鹿児島大学	1			1	1					兼1 山大メディア オムニバス	担当教授の退職(29)	
		免疫学I	2後	鹿児島大学	1			4	1					兼1 山大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更(27)	
		免疫学II	2後	山口大学 鹿児島大学 山口大学	1			4	4					兼1 鹿大メディア 山大メディア 鹿大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため、担当教員を変更(26) 教育効果の充実のため、開設大学及び授業実施方法を変更(27)	
		実験動物学A	3前	鹿児島大学	1				4					兼1 山夫メディア オムニバス	教育効果の充実のため、開設大学を変更し、担当教員を変更及び授業実施方法を変更(27) 教育効果の充実のため、担当教員を変更(26)	
		実験動物学B	3前	山口大学	1			1						兼1 鹿大メディア	専任教員配置により担当教員を変更(26)	
		獣医解剖学実習A	2前	山口大学/ 鹿児島大学	1			2	4		1					教育効果の充実のため、担当教員を変更(27)
		獣医解剖学実習B	2後	山口大学/ 鹿児島大学	1			2	4		1					教育効果の充実のため、担当教員を変更(27)
		獣医組織学実習A	2前	山口大学	1			2	4		1				一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更(27)
		獣医組織学実習B	2後	鹿児島大学	1			1	4		1				一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更(27)
		獣医生理学実習	2後	山口大学/ 鹿児島大学	1			2	2		2			兼1 一部メディア 両大オムニバス	担当准教授が辞任したため後任を公募中(26)	
		生化学実習	2後	山口大学/ 鹿児島大学	1			2	1							教育効果の充実のため、授業科目を変更(28)
		獣医薬理学実習	3後	山口大学/ 鹿児島大学	1			2	2		1			兼1 一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更(27)	
		実験動物学実習	3前	山口大学/ 鹿児島大学	1			4	4		1			兼1 兼2 兼3 兼4 兼5 兼6 兼7	兼1 兼2 兼3 兼4 兼5 兼6 兼7 鹿大オムニバス	教育効果の充実のため、授業科目を変更(28) 教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更(27)
		実験動物機能学実習	3前・後	山口大学/ 鹿児島大学	1			4	2		1					専任教員(教授)配置により担当教員を変更(26) 教育効果の充実のため、授業科目を新設(28)
		29 小計(24科目)		—		36 28	0	0	11 40 9	7 9 10	0	2 4	0	兼3 兼2 兼5 兼7		

	獣医病理学実習Ⅱ	4前	山口大学	1			1			+		鹿大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)	
	寄生虫学実習	3後	山口大学/ 鹿児島大学	1			1	4					教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)	
	獣医公衆衛生学実習Ⅰ	4後	山口大学/ 鹿児島大学	1			2	2		1	兼1		教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)	
	獣医公衆衛生学実習Ⅱ	5前	山口大学/ 鹿児島大学	1			1	2		1	兼1	鹿大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)	
	獣医公衆衛生学実習Ⅲ	4前～5前	山口大学/ 鹿児島大学	1			1	1		2	兼2	集中	教育効果の充実のため、授業科目を新設 (28)	
	毒性学実習	4前	山口大学/ 鹿児島大学	+			2	2		+		一部メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)	
	薬理毒性学実習	4前	山口大学/ 鹿児島大学	1			2	2		1		一部メディア	教育効果の充実のため、授業科目を新設 (28)	
	動物衛生学実習	4前	山口大学	1			1			1		鹿大集中	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)	
	動物感染症総合実習	5前	山口大学	1			2	2		3	兼1	集中 オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)	
	食品加工学実習	2後	山口大学/ 鹿児島大学	1			4	2		2	兼1	集中	教育効果の充実のため、授業科目を新設 (28)	
	35 22 小計 (22科目)	—		50 48	0	0	13 14 14	14 14 14	0	9 +	0	兼5 兼2 兼3 兼4		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数				専任教員等の配置				備考		
				必	修	選	自	教	准	講	助		教	助
畜一 教育	獣医臨床栄養学	2前	山口大学	1				2		1			鹿大メディア	
	臨床獣医学総論	3後	鹿児島大学	1				4		1			山大メディア オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)
	獣医放射線学	3後	山口大学	1				1			1		鹿大メディア オムニバス	
	獣医臨床病理学Ⅰ	4前	鹿児島大学	1				1					山大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更 (27)
	獣医臨床病理学Ⅱ	4前	山口大学	1				1					オムニバス	担当教員の変更 (29)
	獣医臨床病理学Ⅲ	4前	山口大学	1				+					鹿大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更 (27)
	獣医麻酔学	4前	山口大学/ 鹿児島大学	1				1	2		1		オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)
	獣医手術学	4前	山口大学/ 鹿児島大学	1				2	3				オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)
	獣医画像診断学Ⅰ	4前	鹿児島大学	1				2	1				一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
	獣医画像診断学Ⅱ	4前	鹿児島大学	1				+	+				山大メディア オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更 (27)
	獣医画像診断学Ⅲ	4前	山口大学	1				1	3		1		一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
	獣医画像診断学Ⅳ	4前	山口大学	1				2	2		2		鹿大メディア オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更 (27)
	獣医繁殖学	4後	山口大学/ 鹿児島大学	2				2	4				鹿大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (27)
	獣医皮膚病学	4後	山口大学	1				2			+		一部メディア 両大オムニバス 鹿大メディア オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更 (27)
	獣医消化器病学A	4後	鹿児島大学	1				1					山大メディア	教育効果の充実のため、開設大学を変更及び授業実施方法を変更 (27)
	獣医消化器病学B	4後	山口大学	1				1	3		1		一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更及び授業実施方法を変更 (27)
	獣医腎泌尿器病学	4後	鹿児島大学	1				1	1		1		一部メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
畜一教育			山口大学	1			1			1		両大オムニバス 鹿大メディア オムニバス	担当教員の変更 (29)	

専門教育科目	科目 (臨床獣医系科目)	獣医内分沁・代謝病学	4後	鹿児島大学	1		2	4			山犬メディア	教育効果の充実のため、開設大学を変更し、担当教員を変更及び授業実施方法を変更 (27)	
		獣医臨床感染症学	4後	鹿児島大学	4		4		4		オムニバス 一部メディア	教育効果の充実により他の授業科目に合併するため廃止 (27)	
		獣医呼吸器・循環器病学	4前	鹿児島大学	2			1			兼 山大メディア	担当教員の変更 (29)	
		獣医神経・感覚器病学	5前	山口大学	2		1	2			オムニバス 鹿大メディア		
		臨床動物行動学	5前	鹿児島大学	1						兼 集中 山大メディア		
		獣医血液病学	5前	山口大学	1		2	4		4		鹿大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
		獣医運動器病学	5前	鹿児島大学	1		1	2				オムニバス 一部メディア 両大オムニバス	
		獣医臨床腫瘍学	5前	山口大学	1		1	2		1		一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
		野生動物学					1				兼 一部メディア 両大オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員及び授業実施方法を変更、担当准教授の学内配置換(29) 獣医学教育モデル・コア・カリキュラムの講義科目と同一名称に変更、及び教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)	
		野生動物医学	5前	鹿児島大学	1			4			兼 山犬メディア オムニバス	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)	
		牛診療学 I	4後	鹿児島大学	1		2	4		1		山大メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (28)
		牛診療学 II	4後	山口大学 / 鹿児島大学	1		4	2				山犬メディア	教育効果の充実のため、配当年次、開設大学、担当教員及び授業実施方法を変更 (28)
		牛診療学 III	5前	山口大学 / 鹿児島大学	4		2	4				兼 鹿大オムニバス	教育効果の充実のため、授業科目を変更 (28)
		馬診療学	5前	鹿児島大学	1		4					兼 山大メディア 山犬メディア	教育効果の充実のため、担当教員を変更 (29)
		豚診療学	5前	鹿児島大学	1		4					兼 山犬メディア	担当教員の変更及び授業実施方法を変更 (29)
		獣医予防管理学	4後	山口大学	2			1				兼 山犬メディア 鹿大メディア	教育効果の充実のため、開設大学を変更及び授業実施方法を変更 (28)

科目区分	授業科目の名称	配当年度	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	畜一教育科目(臨床獣医系科目)	4前	山口大学/鹿児島大学										教育効果の充実のため、配当年度、開設大学および担当教員を変更(28)	
		4後	鹿児島大学				6	3					集中	
		4前	山口大学/鹿児島大学	1			9	6		2			オムニバス	
		4後	山口大学/鹿児島大学	1			6	5		4			オムニバス	
		5前	山口大学/鹿児島大学	1			4	6					一部メディア 両大オムニバス	
		4後	山口大学/鹿児島大学	1			2	3		4			山大オムニバス	
		5前	山口大学/鹿児島大学	1			2	3					山大オムニバス	
		5前					6	5			3		教育効果の充実のため、担当教員を変更(29)	
		4後	山口大学/鹿児島大学	1			2	2		4			一部メディア 両大オムニバス	
		6前	鹿児島大学	4			2	4					集中 オムニバス	
		4後					2	2					教育効果の充実のため、担当教員を変更(29)	
		5前	山口大学/鹿児島大学	1			4	4		4			山大一部メディア 山大オムニバス	
		5後	山口大学/鹿児島大学	2			2	8	8		2		集中	
		5後	山口大学/鹿児島大学	4			4	3		1			集中	
		5前~6前	山口大学/鹿児島大学	2			5	7		6			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			10	9		6			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			10	9		7			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			10	9		7			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			10	9		7			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			4	4		6			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			4	4		6			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			4	4		6			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			2	2		2			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			2	1		2			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			6	6		6			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			6	6		6			集中	
		6前	山口大学/鹿児島大学	1			6	5		7			集中	
		49 38 小計(20科目)				46 12 44	12 0	12	12	0	12 7 2	0	兼15 兼2	
		専攻演習	4通 4~6通	山口大学/鹿児島大学	4			28	26		5			開講科目の変更による単位数の見直しと配当年度の変更(27)
		卒業論文	5~6通	山口大学/鹿児島大学	6			28	26		4			教育効果の充実のため、担当教員を変更(29)
動物生命科学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学	2			2	7		4			開講科目を変更するため、単位数を変更(28)		
病態制御学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学	2			2	8		4			教育効果の充実のため、授業科目を変更(28)		
伴侶動物臨床獣医学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学	2			2	8		2			教育効果の充実のため、授業科目を変更(28)		
産業動物臨床獣医学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学	2			5	2		4			教育効果の充実のため、授業科目を変更(28)		
動物生命科学特別講義A	6前	山口大学	4			4	4					教育効果の充実のため、授業科目を変更(28)		
動物生命科学特別講義B	6前	鹿児島大学	4			4	2		4			兼1 兼2		
病態制御学特別講義A	6前	山口大学	4			6	2					兼1 兼2		

	保健制御学特別講義B	6単	鹿児島大学		+		3	5					山本メディエ キムニバス	教育効果の充実のため、授業科目を 変更 (28)
	伴侶動物臨床獣医学特別講義A	6単	山口大学		+		4	2			+		鹿本メディエ キムニバス	教育効果の充実のため、授業科目を 変更 (28)
	伴侶動物臨床獣医学特別講義B	6単	鹿児島大学		+		3	4					山本メディエ キムニバス	教育効果の充実のため、授業科目を 変更 (28)
	産業動物臨床獣医学特別講義A	6単	山口大学		+		2	1					鹿本メディエ キムニバス	教育効果の充実のため、授業科目を 変更 (28)
	産業動物臨床獣医学特別講義B	6単	鹿児島大学		+		3	2				兼 0 兼 4	山本メディエ キムニバス	教育効果の充実のため、授業科目を 変更 (28)
2 小計 (14科目)	—			6 8 19	0 46	0	28	26	0	5	0			
自由科目	獣医学特別研修 共通教育科目 (指定科目以外) 他学部専門教育科目 他大学等単位互換科目	1~6	山口大学/ 鹿児島大学				1						集中	教育効果の充実のため、授業科目を 新設 (27)
	1 小計 (4科目)	—				0	0	1 4	0	0	0	0		
	202 189 186 合計 (204科目)	—		181 125 123	109 47 144		1 0	28 26			20 7 5	0	17 6 19 + 13 8 14 2 兼 16 3	

- (注) ・ 設置計画書様式第2号(その2の2)又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

大学名	届出時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
山口大学	科目 122	科目 44	科目	科目 166	科目 127 [5]	科目 28 [△16]	科目 1 [1]	科目 156 [△10]	
鹿児島大学	科目 122	科目 44	科目	科目 166	科目 129 [7]	科目 52 [8]	科目 1 [1]	科目 182 [16]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
山口大学	1	該当なし					
	2						
	3						
鹿児島大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
山口大学	1	該当なし					
	2						
	3						
鹿児島大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

山口大学：
未開講又は廃止科目はない。

鹿児島大学：
未開講又は廃止科目はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(山口大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{166} = 0.00\%$$

(鹿児島大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{166} = 0.00\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(山口大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運 動 場 用 地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎	専 用	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	(413,643 m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(413,643 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設				
	103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	共同獣医学部獣医学科			44 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学 術 雑 誌		視 聴 覚 資 料	機 械 ・ 器 具	標 本		
		[うち外国書]	[うち外国書]	電 子 ジャ ー ナ ル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	共同獣医学部	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	国 費 (運 営 費 交 付 金)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千 円	千 円	図 書 購 入 費	千 円	千 円	千 円	
	共 同 研 究 費 等	千 円	千 円	設 備 購 入 費	千 円	千 円	千 円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円		
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要									

(鹿児島大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	525,967㎡	0㎡	0㎡	525,967㎡				
	運動場用地	106,929㎡	0㎡	0㎡	106,929㎡				
	小 計	632,896㎡	0㎡	0㎡	632,896㎡				
	そ の 他	35,960,681㎡	0㎡	0㎡	35,960,681㎡				
	合 計	36,593,577㎡	0㎡	0㎡	36,593,577㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	241,689㎡ (241,689㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	241,689㎡ (241,689㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	145室	287室	1,662室	29室 (補助職員 0人)	5室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	共同獣医学部獣医学科		42 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					点
	冊	種	〔うち外国書〕						
	共同獣医学部	1,288,239 [374,399] (1,288,239 [374,399])	36,422 [11,782] (36,422 [11,782])	6,242 [5,929] (6,242 [5,929])	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)		
計	1,288,239 [374,399] (1,288,239 [374,399])	36,422 [11,782] (36,422 [11,782])	6,242 [5,929] (6,242 [5,929])	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	15,479㎡		1,142		1,205,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,655㎡		陸上競技場、球技場、野球場、武道場、室内プール、艇庫						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《AC対象学部等》									
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度		
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		

農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		
大学の名称									山口大学大学院
									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
人文科学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度		
教育学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度		
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士）								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度		
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期）								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度		
医学系研究科（博士後期）								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度		平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期）								山口県山口市吉田1677番地1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	
大学の名称	鹿児島大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
《AC対象学部等》 共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	180	学士 (獣医学)	1.05	平成24年度	鹿児島市郡元一 丁目21番24号	
法文学部			3年次 10	20		-			編入学定員は学部 全体の定員で外 数。平成31年度よ り学生募集。
法経社会学科	4	245		245	学士 (法学・経済 学・学術)	1.05	平成29年度	鹿児島市郡元一 丁目21番30号	
人文学科	4	165		165	学士 (文学)	1.02	平成29年度	同上	
法政策学科	4	-		-	学士 (法学)	-	平成9年度	同上	平成29年度学生 募集停止
経済情報学科	4	-		-	学士 (経済学)	-	平成9年度	同上	平成29年度学生 募集停止
人文学科	4	-		-	学士 (文学)	-	昭和54年度	同上	平成29年度学生 募集停止
教育学部									
学校教育教員養成 課程	4	200	-	875	学士 (教育学)	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一 丁目20番6号	平成29年度入学 定員減(25人)
特別支援教育教員 養成課程	4	15	-	60	学士 (教育学)	1.01	昭和49年度	同上	
生涯教育総合課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成9年度	同上	平成29年度学生 募集停止
理学部									
数理情報科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一 丁目21番35号	
物理科学科	4	45	-	180	学士 (理学)	1.03	平成9年度	同上	
生命化学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	平成9年度	同上	
地球環境科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.04	平成9年度	同上	

連合農学研究科								
生物生産科学専攻	3	7	-	21	博士 (農学・水産学・学術)	1.56	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目21番24号
応用生命科学専攻	3	8	-	24	博士 (農学・水産学・学術)	0.75	平成21年度	同上
農水圏資源環境科学専攻	3	8	-	24	博士 (農学・水産学・学術)	1.95	平成21年度	同上
[専門職学位課程] 教育学研究科								
学校教育実践高度化専攻	2	16	-	16	教職修士 (専門職)	0.75	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目20番6号
臨床心理学研究科								
臨床心理学専攻	2	15	-	30	臨床心理修士 (専門職)	1.03	平成19年度	鹿児島市郡元一丁目21番30号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<共同獣医学部 獣医学科>

(1) 担当教員表

(山口大学)

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	木曾 康郎	平成24年 4月	専	教授	木曾 康郎	平成29年 4月	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(25)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(25)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(25)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	和田 直己	平成24年 4月	専	教授	和田 直己	平成29年 4月	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(27)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	前田 健	平成24年 4月	専	教授	前田 健	平成29年 4月	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(25)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(27)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	佐藤 晃一	平成24年 4月	専	教授	佐藤 晃一	平成29年 4月	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(25)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(27)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(26)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(28)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(28)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(28)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(28)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	林 俊春	平成24年 4月					平成26年3月退職

専	教授	森本 将弘	平成24年 4月	<p>獣医病理学D</p> <p>専攻演習 卒業論文</p> <p>病態制御学特別実験 病態制御学特別講義A</p>	専	教授	森本 将弘	平成29年 4月	<p>獣医病理学A 獣医病理学D 獣医臨床検査学実習 I 獣医病理学実習 II 専攻演習 卒業論文 獣医臨床検査学特別実習 I 獣医臨床検査学特別実習 II 獣医臨床検査学特別実習 III</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(26)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	岩田 祐之	平成24年 4月	<p>生物学実験 獣医学概論A 免疫学 II 動物衛生学 動物衛生学実習</p> <p>専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義A</p>	専	教授	岩田 祐之	平成29年 4月	<p>免疫学 II 動物衛生学 動物衛生学実習 食品加工学実習 動物感染症総合実習 獣医臨床検査学特別実習 I 専攻演習 卒業論文</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	奥田 優	平成24年 4月	<p>獣医血液病学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物総合臨床実習</p> <p>専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義A</p>	専	教授	奥田 優	平成29年 4月	<p>獣医血液病学 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 専攻演習 卒業論文</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(27)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(28)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	水野 拓也	平成24年 4月	<p>暮らしの中の動物 獣医皮膚病学 獣医消化器病学B 獣医臨床基礎実習</p> <p>伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義A</p>	専	教授	水野 拓也	平成29年 4月	<p>獣医皮膚病学 獣医臨床病理学 II 獣医内分泌・代謝病学 夜間・救急病院総合臨床実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(H25)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>
専	教授	佐藤 宏	平成24年 4月	<p>生物学実験 獣医学概論A</p> <p>獣医キャリア形成論 寄生虫学 I 寄生虫学 II 寄生虫学実習 動物感染症総合実習</p> <p>専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義A</p>	専	教授	佐藤 宏	平成29年 4月	<p>食と生命 獣医キャリア形成論 寄生虫学 I 寄生虫学 II 寄生虫学実習 動物感染症総合実習 産業動物診断治療学実習 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)</p>

専	准教授	日下部 健	平成24年 4月	生物学実験 獣医組織学A 獣医組織学C 獣医解剖学実習A 獣医解剖学実習B 獣医組織学実習A 獣医組織学実習B 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義A	専	准教授	日下部 健	平成29年 4月	食と生命 獣医組織学A 獣医組織学C 獣医解剖学実習A 獣医解剖学実習B 獣医組織学実習A 獣医組織学実習B 専攻演習 卒業論文 獣医臨床検査学特別実習III	教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	准教授	森 大志	平成24年 4月	獣医生理学A 獣医生理学実習 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義A						平成26年3月退職
専	准教授	下島 昌幸	平成24年 4月	生物学実験 獣医微生物学 I 獣医微生物学 II A 獣医微生物学 II B 人獣共通感染症学 I 獣医微生物学実習A 動物感染症総合実習 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義A						平成24年10月退職
専	准教授	大濱 剛	平成24年 4月	科学の中の動物 生物学実験 獣医学概論A 獣医薬理学B 獣医薬理学実習 毒性学実習 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義A	専	准教授	大濱 剛	平成29年 4月	食と生命 獣医薬理学A 獣医薬理学C 実験動物機能学実習 薬理毒性学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(25) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(26) 教育効果の充実のため担当教員を変更(26) 教育課程の充実のため授業科目を新設(28) 教育課程の充実のため授業科目を新設(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(26) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	准教授	西垣 一男	平成24年 4月	獣医学概論A 動物感染症学B 人獣共通感染症学 I 獣医微生物学実習B 動物感染症総合実習 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義A	専	准教授	西垣 一男	平成29年 4月	生命科学概論 動物感染症学B 人獣共通感染症学 I 獣医微生物学実習B 動物感染症総合実習 専攻演習 卒業論文 獣医臨床検査学特別実習 I	教育効果の充実のため担当教員を変更(129) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)

専	准教授	谷 健二	平成24年 4月	獣医麻酔学 獣医手術学 獣医消化器病学B 獣医運動器病学 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義A	専	准教授	谷 健二	平成29年 4月	獣医手術学 獣医消化器病学B 獣医運動器病学 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	准教授	角川 博哉	平成24年 4月	獣医臨床栄養学 獣医予防管理学 産業動物診断治療学実習Ⅰ 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実験 産業動物臨床獣医学特別講義A	専	准教授	角川 博哉	平成29年 4月	畜産科学 獣医臨床栄養学 獣医予防管理学 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	准教授	伊藤 良樹	平成24年 4月	獣医画像診断学Ⅱ 獣医神経・感覚器病学 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験	専	准教授	伊藤 良樹	平成29年 4月	獣医画像診断学Ⅱ 獣医神経・感覚器病学 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	准教授	板本 和仁	平成24年 4月	獣医麻酔学 獣医手術学 獣医画像診断学Ⅱ 獣医消化器病学B 獣医神経・感覚器病学 獣医臨床腫瘍学 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義A	専	准教授	板本 和仁	平成29年 4月	獣医学概論A 獣医麻酔学 獣医手術学 獣医消化器病学B 獣医神経・感覚器病学 獣医臨床腫瘍学 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 伴侶動物総合臨床実習 伴侶動物診断治療学実習B 夜間・救急病院総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 臨床獣医学特別実習Ⅰ 臨床獣医学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅲ 臨床獣医学特別実習Ⅳ 臨床獣医学特別実習Ⅵ 臨床獣医学特別実習Ⅶ 臨床獣医学特別実習Ⅷ	教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	准教授	平岡 博子	平成24年 4月	獣医臨床病理学Ⅱ 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義A					平成24年12月退職	

専	准教授	清水 隆	平成24年 4月	<p>獣医公衆衛生学 環境衛生学</p> <p>獣医公衆衛生学実習 I 獣医公衆衛生学実習 II 専攻演習 卒業論文</p> <p>病態制御学特別実験 病態制御学特別講義A</p>	専	准教授	清水 隆	平成29年 4月	<p>食と生命</p> <p>食品衛生学 食品加工実習 獣医公衆衛生学実習 III 動物感染症総合実習 獣医公衆衛生学実習 I 獣医公衆衛生学実習 II 専攻演習 卒業論文 獣医臨床検査学特別実習IV</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)</p>
専	准教授	加納 聖	平成24年 4月	<p>獣医発生学 専攻演習 卒業論文</p> <p>動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義A</p>	専	准教授	加納 聖	平成29年 4月	<p>食と生命</p> <p>獣医解剖学実習A 獣医解剖学実習B 獣医組織学実習A 獣医組織学実習B 獣医発生学 専攻演習 卒業論文</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (26) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (26) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (25) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (25) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (25)</p> <p>教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)</p>
専	助教	久保 正仁	平成24年 4月	<p>科学の中の動物 生物学実験 獣医病理学実習 I 獣医病理学実習 II 専攻演習 病態制御学特別実験</p>						平成26年8月退職
専	助教	馬場 健司	平成24年 4月	<p>科学の中の動物 獣医画像診断学 II 獣医皮膚病学</p> <p>獣医消化器病学B 獣医臨床感染症学 獣医血液病学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習</p> <p>伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義A</p>	専	准教授	馬場 健司	平成29年 4月	<p>獣医画像診断学 II 獣医消化器病学A 獣医消化器病学B</p> <p>伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 専攻演習 臨床獣医学特別実習 I 臨床獣医学特別実習 II 臨床獣医学特別実習 III 臨床獣医学特別実習 VI 臨床獣医学特別実習 VII 臨床獣医学特別実習 VIII</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更 (25) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (26) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)</p>
専	助教	仲澤 宏	平成24年 4月	<p>獣医麻酔学 獣医画像診断学 II 獣医消化器病学B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 伴侶動物臨床獣医学特別実験</p>						平成26年12月退職
					専	教授	島田 緑	平成29年 4月	<p>生化学 I 生化学実習</p>	<p>教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)</p>

					専	教授	豊福 肇	平成29年4月	獣医公衆衛生学 食品衛生学 獣医疫学 食品科学 食品加工学実習 獣医公衆衛生学実習 I 獣医公衆衛生学実習 II 獣医公衆衛生学実習 III 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
					専	教授	木村 透	平成29年4月	生物学実験 実験動物学B 実験動物機能学実習 動物感染症総合実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
					専	教授	高木 光博	平成29年4月	獣医繁殖学 牛診療学 II 産業動物診断治療学実習 獣医繁殖学実習 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
					兼任	教授	度会 雅久	平成29年4月	獣医公衆衛生学 食品加工学実習 獣医公衆衛生学実習 I 獣医公衆衛生学実習 II 獣医公衆衛生学実習 III 動物感染症総合実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
					専	准教授	高野 愛	平成29年4月	獣医学概論A 動物感染症総合実習	教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
					専	准教授	柳田 哲矢	平成29年4月	生物学実験 寄生虫学実習 動物感染症総合実習 産業動物診断治療学実習 産業動物総合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
					専	准教授	谷口 雅康	平成29年4月	生物学実験 獣医繁殖学 牛診療学 II 獣医臨床基礎実習 産業動物診断治療学実習 獣医繁殖学実習 産業動物総合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
					専	助教	日暮 泰男	平成29年4月	獣医生理学実習	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
					専	助教	臼井 達哉	平成29年4月	生物学実験 実験動物機能学実習 薬理毒性学実習	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)

					専	助教	下田 宙	平成29年4月	生物学実験 人獣共通感染症学 I 獣医微生物学実習A 動物感染症総合実 習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28)
					専	助教	櫻井 優	平成29年4月	生物学実験 獣医病理学実習 I 獣医病理学実習 II	教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(27)
					専	助教	坂井 祐介	平成29年4月	生物学実験 獣医病理学実習 I 獣医病理学実習 II	教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28)
					専	助教	渋谷 周作	平成29年4月	食品加工学実習 動物衛生学実習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29)
					専	助教	三宅 在子	平成29年4月	生物学実験 人獣共通感染症学 I 獣医微生物学実習B 動物感染症総合実 習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28)
					専	助教	渡邊 健太	平成29年4月	食品加工学実習 獣医公衆衛生学実 習 I 獣医公衆衛生学実 習 II 獣医公衆衛生学実 習 III 動物感染症総合実 習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(28)
					専	助教	檜山 雅人	平成29年4月	産業動物診断治療 学実習 産業動物総合臨床 実習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29)
					専	助教	井芹 俊恵	平成29年4月	獣医麻酔学 伴侶動物総合臨床 実習 夜間・救急病院総 合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29)
					専	助教	下川 孝子	平成29年4月	獣医画像診断学II 獣医腎泌尿器病学 獣医内分泌・代謝 病学 伴侶動物診断治療 学実習B 伴侶動物総合臨床 実習 夜間・救急病院総 合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29)
					専	助教	根本 有希	平成29年4月	伴侶動物診断治療 学実習B 伴侶動物総合臨床 実習 夜間・救急病院総 合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更(29)

						専	助教	原口 友也	平成29年 4月	獣医消化器病学B 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を変更(27) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
						専	助教	西川 晋平	平成29年 4月	伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)

(鹿児島大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	松元 光春	平成24年4月	獣医解剖学A 獣医解剖学C 獣医組織学B 獣医組織学D 獣医解剖学実習A 獣医解剖学実習B 獣医組織学実習A 獣医組織学実習B 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	専	教授	松元 光春	平成29年4月	獣医解剖学A 獣医解剖学C 獣医組織学B 獣医組織学C 獣医解剖学実習A 獣医解剖学実習B 獣医組織学実習A 獣医組織学実習B 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	教授	川崎 安亮	平成24年4月	獣医生理学B 動物行動学 獣医生理学実習 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	専	教授	川崎 安亮	平成29年4月	獣医学概論B 獣医生理学A 獣医生理学B 動物行動学 獣医生理学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(26) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	教授	宮本 篤	平成24年4月	獣医薬理学C 獣医薬理学D 獣医薬理学実習 毒性学B 毒性学実習 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	専	教授	宮本 篤	平成29年4月	獣医学概論B 獣医薬理学B 獣医薬理学D 実験動物機能学実習 毒性学B 薬理毒性学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(25) 教育効果の充実のため担当教員を変更(26) 教育効果の充実のため担当教員を変更(26) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(28) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)
専	教授	藤田 秋一	平成24年4月	生化学Ⅱ 生化学実習 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	専	教授	藤田 秋一	平成29年4月	生化学Ⅱ 生化学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更(29) 教育効果の充実のため担当教員を変更(29)

専	教授	高瀬 公三	平成24年4月	獣医微生物学 I 獣医微生物学 II A 家禽疾病学 獣医微生物学実習A 獣医微生物学実習B 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B	専	教授	高瀬 公三	平成29年4月	動物福祉学 獣医微生物学 I 獣医微生物学 II A 獣医微生物学 II B 家禽疾病学 獣医微生物学実習A 獣医微生物学実習B 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
専	教授	望月 雅美	平成24年4月	獣医微生物学 II B 動物感染症学A 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B						平成28年3月 望月雅美教授 定年 退職 (29)
専	教授	岡本 嘉六	平成24年4月	獣医学概論B 獣医公衆衛生学 環境衛生学 人獣共通感染症学 II 獣医疫学 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験						平成25年3月 岡本嘉六教授 定年 退職 (29)
専	教授	三好 宣彰	平成24年4月	獣医病理学B 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B	専	教授	三好 宣彰	平成29年4月	獣医学概論B 獣医病理学B 獣医病理学実習 I 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (24) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
専	教授	遠藤 泰之	平成24年4月	臨床獣医学総論 獣医内分泌・代謝病学 獣医臨床感染症学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義B	専	教授	遠藤 泰之	平成29年4月	獣医学概論B 臨床獣医学総論 獣医皮膚病学 獣医消化器病学B 獣医呼吸器・循環器病学 獣医血液病学 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 獣医臨床検査学特別実習 I 獣医臨床検査学特別実習 II 臨床獣医学特別実習 I 臨床獣医学特別実習 II 臨床獣医学特別実習 III 臨床獣医学特別実習 IV 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)

専	教授	三角 一浩	平成24年4月	獣医学概論B 獣医麻酔学 獣医手術学 馬診療学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 産業動物診断治療学実習Ⅱ 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実習 産業動物臨床獣医学特別講義B	専	教授	三角 一浩	平成29年4月	獣医学概論B 獣医麻酔学 獣医手術学 獣医運動器病学 牛診療学Ⅰ 馬診療学 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 産業動物診断治療学実習 伴侶動物総合臨床実習 産業動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 獣医臨床検査学特別実習Ⅰ 獣医臨床検査学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅰ 臨床獣医学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅲ 臨床獣医学特別実習Ⅳ 臨床獣医学特別実習Ⅴ 臨床獣医学特別実習Ⅵ 臨床獣医学特別実習Ⅶ 臨床獣医学特別実習Ⅷ 専攻演習 卒業論文 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	教授	桃井 康行	平成24年4月	獣医画像診断学Ⅰ 獣医内分泌・代謝病学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実習 伴侶動物臨床獣医学特別講義B	専	教授	桃井 康行	平成29年4月	獣医画像診断学Ⅰ 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	教授	大和 修	平成24年4月	獣医臨床病理学Ⅰ 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実習 伴侶動物臨床獣医学特別講義B	専	教授	大和 修	平成29年4月	獣医臨床病理学Ⅰ 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 獣医臨床検査学特別実習Ⅰ 獣医臨床検査学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅰ 臨床獣医学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅲ 臨床獣医学特別実習Ⅳ 専攻演習 卒業論文 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)

専	教授	帆保 誠二	平成24年4月	産業動物診断治療学実習Ⅱ 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実験 産業動物臨床獣医学特別講義B	専	教授	帆保 誠二	平成29年4月	動物感染症学A 臨床獣医学総論 牛診療学Ⅰ 馬診療学 産業動物診断治療学実習 産業動物総合臨床実習 臨床獣医学特別実習Ⅴ 臨床獣医学特別実習Ⅵ 臨床獣医学特別実習Ⅶ 臨床獣医学特別実習Ⅷ 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	教授	窪田 力	平成24年4月	獣医学概論B 獣医繁殖学 牛診療学Ⅲ 獣医臨床基礎実習 産業動物診断治療学実習Ⅰ 産業動物診断治療学実習Ⅱ 獣医繁殖学実習 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実験 産業動物臨床獣医学特別講義B	専	教授	窪田 力	平成29年4月	獣医繁殖学 牛診療学Ⅱ 産業動物診断治療学実習 獣医繁殖学実習 産業動物総合臨床実習 臨床獣医学特別実習Ⅴ 臨床獣医学特別実習Ⅵ 臨床獣医学特別実習Ⅶ 臨床獣医学特別実習Ⅷ 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (24) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	教授	出口 栄三郎	平成24年4月	豚診療学 獣医臨床基礎実習 産業動物診断治療学実習Ⅱ 専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実験 産業動物臨床獣医学特別講義B						平成28年3月 出口栄三郎教授 定年退職 (29)
専	教授	小原 恭子	平成24年4月	専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実験 産業動物臨床獣医学特別講義B	専	教授	小原 恭子	平成29年4月	獣医学概論B 獣医微生物学ⅡB 動物衛生学 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (25) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27)
専	准教授	藤田 志歩	平成24年4月	獣医生理学B 動物行動学 獣医生理学実習 野生動物医学 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	兼任	准教授	藤田 志歩	平成29年4月	獣医生理学B 動物行動学 獣医生理学実習 野生動物学	平成29年4月 藤田志歩准教授 学内の他部局へ配置換え (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)

専	准教授	白石 光也	平成24年4月	獣医薬理学C 獣医薬理学D 獣医薬理学実習 毒性学B 毒性学実習 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	専	准教授	白石 光也	平成29年4月	獣医薬理学B 獣医薬理学D 実験動物機能学実習 毒性学B 薬理毒性学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (26) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (26) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
専	准教授	叶内 宏明	平成24年4月	生化学Ⅱ 生化学実習 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	専	准教授	叶内 宏明	平成29年4月	生化学Ⅱ 生化学実習 食品加工学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
専	准教授	小尾 岳士	平成24年4月	獣医微生物学Ⅰ 獣医微生物学ⅡA 獣医微生物学実習A 獣医微生物学実習B 卒業論文 専攻演習 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B	専	准教授	小尾 岳士	平成29年4月	獣医微生物学Ⅰ 獣医微生物学ⅡA 動物感染症学A 獣医微生物学実習A 獣医微生物学実習B 卒業論文 専攻演習	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
専	准教授	田中 哲也	平成24年4月	免疫学Ⅰ 動物感染症学A 獣医微生物学実習A 獣医微生物学実習B 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B	専	准教授	田中 哲也	平成29年4月	免疫学Ⅰ 動物感染症学A 獣医微生物学実習A 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
専	准教授	中馬 猛久	平成24年4月	食品衛生学 獣医公衆衛生学実習Ⅰ 獣医公衆衛生学実習Ⅱ 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B	専	教授	中馬 猛久	平成29年4月	獣医公衆衛生学 食品衛生学 環境衛生学 人獣共通感染症学Ⅱ 専攻演習 卒業論文	平成25年4月 中馬猛久准教授 教 授昇任 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
専	准教授	川口 博明	平成24年4月	実験動物学A 実験動物学実習 獣医病理学C 獣医病理学実習Ⅰ 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B						平成27年7月 川口博明准教授 就 任辞退 (学内の他部署へ配置換 え) (29)

専	准教授	松尾 智英	平成24年4月	寄生虫学Ⅰ 寄生虫学Ⅱ 寄生虫学実習 専攻演習 卒業論文 病態制御学特別実験 病態制御学特別講義B	専	准教授	松尾 智英	平成29年4月	寄生虫学Ⅰ 寄生虫学Ⅱ 寄生虫学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	准教授	小澤 真	平成24年4月	動物衛生学実習 専攻演習 卒業論文	専	准教授	小澤 真	平成29年4月	獣医微生物学ⅡB 動物衛生学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	准教授	瀬戸口 明日香	平成24年4月	獣医消化器病学A 獣医内分泌・代謝病学 獣医臨床腫瘍学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義B						平成26年12月 瀬戸口 (木之下) 明日香准教授 就任辞退 (29)
専	准教授	藤木 誠	平成24年4月	獣医麻酔学 獣医手術学 獣医画像診断学Ⅰ 獣医運動器病学 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義B	専	准教授	藤木 誠	平成29年4月	獣医麻酔学 獣医手術学 獣医画像診断学Ⅰ 獣医運動器病学 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ 伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 獣医臨床検査学特別実習Ⅰ 獣医臨床検査学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅰ 臨床獣医学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅲ 臨床獣医学特別実習Ⅳ 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	准教授	三浦 直樹	平成24年4月	獣医呼吸器・循環器病学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義B	専	准教授	三浦 直樹	平成29年4月	動物福祉学 獣医画像診断学Ⅱ 獣医呼吸器・循環器病学 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 獣医臨床検査学特別実習Ⅰ 獣医臨床検査学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅰ 臨床獣医学特別実習Ⅱ 臨床獣医学特別実習Ⅲ 臨床獣医学特別実習Ⅳ 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)

専	准教授	矢吹 映	平成24年4月	獣医生理学B 獣医腎泌尿器病学 獣医臨床基礎実習 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 伴侶動物臨床獣医学特別実験 伴侶動物臨床獣医学特別講義B	専	准教授	矢吹 映	平成29年4月	獣医生理学B 獣医臨床病理学 I 獣医腎泌尿器病学 伴侶動物診断治療学実習A 伴侶動物診断治療学実習B 伴侶動物総合臨床実習 夜間・救急病院総合臨床実習 獣医臨床検査学特別実習 I 獣医臨床検査学特別実習 II 臨床獣医学特別実習 I 臨床獣医学特別実習 II 臨床獣医学特別実習 III 臨床獣医学特別実習 IV 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	准教授	高木 光博	平成24年4月	獣医学概論B 臨床獣医学総論 牛診療学 I 牛診療学 II 獣医臨床基礎実習 産業動物診断治療学実習 I 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実験 獣医学概論B					平成27年7月 高木光博准教授 就任辞退 (29)	
専	准教授	安藤 貴朗	平成24年4月	獣医繁殖学 牛診療学 III 産業動物診断治療学実習 II 獣医繁殖学実習 産業動物総合臨床実習 専攻演習 卒業論文 産業動物臨床獣医学特別実験 産業動物臨床獣医学特別講義B	専	准教授	安藤 貴朗	平成29年4月	臨床獣医学総論 獣医繁殖学 牛診療学 II 産業動物診断治療学実習 獣医繁殖学実習 産業動物総合臨床実習 臨床獣医学特別実習 V 臨床獣医学特別実習 VI 臨床獣医学特別実習 VII 臨床獣医学特別実習 VIII 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	助教	辻尾 祐志	平成24年4月	獣医解剖学実習A 獣医解剖学実習B 獣医組織学実習A 獣医組織学実習B 専攻演習 卒業論文 動物生命科学特別実験 動物生命科学特別講義B	専	助教	辻尾 祐志	平成29年4月	獣医解剖学実習A 獣医解剖学実習B 獣医組織学実習A 獣医組織学実習B 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
専	助教	野口 倫子	平成24年4月	獣医臨床基礎実習 産業動物診断治療学実習 I 産業動物総合臨床実習 専攻演習 産業動物臨床獣医学特別実験					平成27年3月 野口倫子助教 就任辞退 (29)	

						専	教授	浅野 淳	平成29年4月	動物福祉学 実験動物学A 実験動物機能学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
						専	准教授	畑井 仁	平成29年4月	獣医病理学C 獣医病理学実習 I 獣医臨床検査学特別実習 III 獣医臨床検査学特別実習 IV 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
						専	准教授	安藤 匡子	平成29年4月	獣医公衆衛生学実習 I 獣医公衆衛生学実習 II 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (27) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
						専	准教授	畠添 孝	平成29年4月	牛診療学 I 産業動物診断治療学実習 産業動物総合臨床実習 臨床獣医学特別実習 V 臨床獣医学特別実習 VI 臨床獣医学特別実習 VII 臨床獣医学特別実習 VIII 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)
						専	准教授	乙丸 孝之介	平成29年4月	牛診療学 I 産業動物診断治療学実習 産業動物総合臨床実習 臨床獣医学特別実習 V 臨床獣医学特別実習 VI 臨床獣医学特別実習 VII 臨床獣医学特別実習 VIII 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
						専	准教授	松鶴 彩	平成29年4月	獣医微生物学 II B 動物衛生学 動物感染症学 A 食品加工学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
						専	准教授	正谷 達勝	平成29年4月	獣医微生物学 II B 寄生虫学実習 獣医公衆衛生学実習 II 動物衛生学実習 専攻演習 卒業論文	教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (29)
						専	准教授	有村 卓朗	平成29年4月	獣医学概論 B 産業動物総合臨床実習	教育効果の充実のため担当教員を変更 (28) 教育効果の充実のため担当教員を変更 (28)

										獣医病理学実習Ⅰ 獣医公衆衛生学実習Ⅲ 獣医臨床検査学特別実習Ⅲ 獣医臨床検査学特別実習Ⅳ 専攻演習	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)
										豚診療学 産業動物診断治療学実習 産業動物総合臨床実習 臨床獣医学特別実習Ⅴ 臨床獣医学特別実習Ⅵ 臨床獣医学特別実習Ⅶ 臨床獣医学特別実習Ⅷ	教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29) 教育効果の充実のため担当教員を 変更 (29)

- (注)
- ・ 申請書の様式第3号(その2の2)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
山口大学	14 名	7 名
鹿児島大学	14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

大学名	設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
山口大学	14	13		5	32	15	13		14	42	15	13		14	42
	(14)	(13)		(5)	(32)						[1]	[0]	[]	[9]	[10]
鹿児島大学	16	15		2	33	15	17		8	40	16	18		8	42
	(16)	(15)	()	(2)	(33)						[0]	[3]	[]	[6]	[9]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
山口大学	65 歳	0 名	0 名
鹿児島大学	65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
山口大学	14 名	7 名
鹿児島大学	14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

大学名	設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
山口大学	14	13		5	32	15	13		14	42	15	13		14	42
	(14)	(13)		(5)	(32)						[1]	[0]	[]	[9]	[10]
鹿児島大学	16	15		2	33	15	17		8	40	16	18		8	42
	(16)	(15)	()	(2)	(33)						[0]	[3]	[]	[6]	[9]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
山口大学	65 歳	0 名	0 名
鹿児島大学	65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
山口大学			該当なし (H28→H29)						
鹿児島大学			該当なし (H28→H29)						
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
〇〇大学	〇〇	人	/	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
				選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
				自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
計				〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	
△△大学	〇〇	人	/	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
				選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
				自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
計				〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
山口大学			該当なし (H28→H29)						
鹿児島大学			該当なし (H28→H29)						
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
〇〇大学	〇〇	人	/	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
				選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
				自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
計				〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	
△△大学	〇〇	人	/	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
				選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
				自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
計				〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

大学名	合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
	辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
〇〇大学	〇〇	人	/	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
				選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
				自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
計				〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	
△△大学	〇〇	人	/	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
				選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
				自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
計				〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	

(注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成24年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<共同獣医学部 獣医学科>

(1) 設置計画変更事項等

(山口大学)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

(鹿児島大学)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

(山口大学)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学務委員会

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

毎月第1水曜日開催

平成28年4月6日(水) 9名出席
 平成28年5月6日(金) 8名出席
 平成28年6月1日(水) 9名出席
 平成28年7月6日(水) 9名出席
 平成28年8月3日(水) 9名出席
 平成28年10月5日(水) 7名出席
 平成28年11月2日(水) 7名出席
 平成28年12月7日(水) 5名出席
 平成29年1月5日(水) 7名出席
 平成29年2月1日(水) 9名出席
 平成29年3月1日(水) 8名出席

c 委員会の審議事項等

(FDに関する審議事項)

- ・ FD推進に関する実施計画
- ・ 教育内容や方法の改善策

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学生特別支援室FD研修会
- ・ 教育改善FD研修会
- ・ 獣医学セミナー：教員、学生対象の本学教員による教育力向上のためのセミナー
- ・ 獣医学科特別セミナー：教員、学生対象の学外講師によるセミナー
- ・ 総合臨床セミナー：教員、学生、学外獣医師対象の外部講師及び臨床系教員によるセミナー
- ・ 鹿児島大学共同獣医学部との合同FD講演会
- ・ 学生教員間獣医学教育協議会
- ・ 共同獣医学部・遠隔授業実施に関するアンケート (教員向け)

b 実施方法

学務委員会委員、FDコーディネータ、各セミナー担当教員を中心に研修会やセミナー、アンケートを実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学生特別支援室FD研修会（平成28年9月14日（水）） 28名出席
- ・教育改善FD研修会（平成28年12月14日（水）） 22名出席
- ・獣医学セミナー
 - 平成28年4月20日（水） 演題：「共生」から捉える環境細菌の病原性 28名出席
 - 平成28年5月18日（水） 演題：幹細胞とがん幹細胞 32名出席
 - 平成28年6月15日（水） 演題：光触媒技術を応用した環境制御への挑戦 27名出席
 - 平成28年10月19日（水） 演題：局所鎮痛に関する最近の話題 15名出席
 - 平成28年12月21日（水） 演題：成体脳の神経新生と神経疾患 32名出席
- ・獣医学科特別セミナー
 - 平成28年10月26日（水） 演題：サルの歩行を何故調べるのか 18名出席
 - 平成29年1月11日（水） 演題：Live imaging：生きた細胞内で機能分子の動きと活性を可視化し操作する 18名出席
 - 平成29年1月25日（水） 演題：Small RNAs: Important regulators of gene expression in embryogenesis, biology and disease. 31名出席
 - 平成29年2月16日（木） 演題：自然免疫機構の理解と制御 35名出席
 - 平成29年3月10日（金） 演題：国内に存在するマダニ媒介ウイルス 22名出席
- ・総合臨床セミナー（出席者は学外からの参加獣医師も含む）
 - 平成28年7月24日（日） 演題：「臨床獣医師のための放射線治療の知識」, 「肥満細胞腫の現状」 66名出席
 - 平成28年12月11日（日） 演題：「救急診療を任された時、おさえておきたい10TIPS」, 「体腔内貯留液の細胞診」 87名出席
 - 平成29年3月5日（日） 演題：「緑内障の診断と治療」, 「一般診療施設で可能な眼科検査」 71名出席
- ・鹿児島大学共同獣医学部との合同FD講演会（平成28年8月18日（木）） 70名出席
- ・学生教員間獣医学教育協議会（出席者は学生も含む）
 - 平成28年9月28日（水） 16名出席
 - 平成29年3月13日（月） 16名出席
- ・共同獣医学部・授業実施に関するアンケート実施（平成28年5月）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・本学部構成員の授業デザインやシラバスに対する意識が向上した。
- ・学内外講師による講演や臨床症例に基づいた検討会などを行ったことにより、臨床現場で実践可能な治療法や検査法等に関する最新の知見が得られた。
- ・鹿児島大学教員との合同FD研修会を開催したことにより、両大学において円滑なカリキュラム運営を行うための有意義な意見交換を行うことができた。
- ・学生教員間獣医学教育協議会において、学生から直接意見を聴き、協議を行うことで、学生の目に見えるような形で授業改善を図ることができた。また、授業実施に係る情報共有を行うことができた。
- ・遠隔講義システムを利用した授業アンケートを取ることで、問題点を共有し、授業改善につながった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・学生授業評価については、各学期終了時に実施
- ・学生教員間獣医学教育協議会を学期末に開催

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生授業評価結果については、アンケート終了後、教育情報システムで担当教員に公開
- ・大学教育センターホームページにおいて、各授業実施上の問題点・改善点を教職員及び学生に公開
- ・学生教員間獣医学教育協議会において、学生から授業実施に対する意見等を直接聴き、問題点・改善点を学生教員間で協議を行った。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 教務委員会（委員3名）：教務事項全般
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会（委員4名）：
教育内容・方法及び改善に関する事項、教員の資質向上に関する事項

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 教務委員会：11回開催（委員全員出席）
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会：2回開催（委員全員出席）
正式な会議以外でも、随時、適宜委員、関係者間で必要な協議、検討を行った。

c 委員会の審議事項等

- ・ 教務委員会：教務事項全般に関する事項、その他教務委員会が必要と認める事項
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会：教育内容・方法及び改善に関する事項、
教員の資質向上に関する事項、その他FD委員会が必要と認める事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 山口大学共同獣医学部との合同FD研修会
- ・ 授業公開・授業参観
- ・ Glexa利用講習会

b 実施方法

- ・ 山口大学共同獣医学部との合同FD研修会
平成26年度から始まった両大学共同獣医学部が合同で行うFD研修会であり、隔年で主催大学を交代して実施している。平成28年度は、山口大学が主催。
- ・ 授業公開・授業参観
毎年、前期・後期にそれぞれ授業参観期間を設定し、学部教員に案内している。
参観後は、参観者から「参観報告書」を提出してもらい、授業担当者にも配付のうえ「報告書に対する対策書」を作成・提出いただいている。
- ・ Glexa利用講習会
共同獣医学部で運用が開始されたE-ラーニングシステムであるGlexaへの理解と授業における利用を促進することを目的として開催している。平成28年度は山口大学で開催し、双方向システムで鹿児島大学に発信された。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 山口大学共同獣医学部との合同FD研修会（36名参加）
日時：平成28年8月18日（月）14時～18時15分
会場：山口大学共同獣医学部（山口大学主催）
- ・ 授業公開・授業参観（のべ47名参加）
期間：平成28年6月20日（月）～7月15日（金）（※前期）
平成28年12月5日（月）～1月12日（木）（※後期）
- ・ Glexa利用講習会（18名参加）
日時：平成29年2月13日（月）15時～16時
会場：鹿児島大学農・獣医共通棟（山口大学主催、山口大学から配信）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学部のFD活動状況については、年度末にFD報告書としてまとめている。報告書は、大学ホームページ上で公開されており、全教員で共有している。教員は、参加した学部のFD活動、および前述報告書等の内容を参考し、担当科目の授業実施方法の改善のために各々取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期にそれぞれ、全科目を対象に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

希望教員には、担当科目の結果を配布。また、ホームページ上のFD報告書において、総表を公開している。

(2) 自己点検・評価等に関する事項

(山口大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成24年度に開設し、現在まで順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・平成30年3月公表予定

b 公表方法
山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画
平成27年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度は検討中。

(鹿児島大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成24年度に開設し、現在まで順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していくこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
未定（平成31年度）

b 公表方法
・年度計画進捗管理システム及び研究者情報管理システムを活用し年度ごとのデータを収集した上で、3年ごとに自己評価報告書を作成する。
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画
・平成33年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

(山口大学)

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年9月1日)

(鹿児島大学)

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年9月1日)